

みなさん、こんにちは。

記者の皆様には、お忙しい中、本日の定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日の会見では、私から5項目について発表させていただきます。

初めに、令和7年第3回市議会定例会提出議案についてです。記者会見資料1の1ページをご覧ください。

本定例会に提出予定の議案は、条例の制定及び改正、補正予算、財産の取得、工事請負契約の締結、物品購入契約の締結、人事案件、決算の認定など、全部で19件です。

それでは、令和7年第3回定例会提出予定議案のうち主な議案につきましてご説明を申し上げます。

記者会見資料1の3ページをご覧ください。

議案第50号は、児童福祉法の改正に伴い、乳児等通園支援事業「こども誰でも通園制度」が市町村による認可事業として位置づけられたことから、市が認可する乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を条例で定めるものです。

議案第53号は、地方税法の改正に伴い、個人の市民税における特定親族特別控除の新設、市たばこ税における加熱式たばこの課税方式の見直しを行うため改正するものです。

5ページをご覧ください。

議案第55号は、令和7年度牛久市一般会計補正予算（第4号）であり、既定の予算額から2億4,601万8千円を増額し、予算の総額を333億9,428万8千円とするもので、歳入歳出予算、及び債務負担行為について補正するものであります。

補正予算の内容といたしましては、牛久シャトーにおいてワインと食のイベントを開催するための、ワイン文化日本遺産協議会に対する負担金の増額、また、市制施行40周年記念事業として、市で保管するつくば科学万博開催時の「万博中央駅」駅名サインを、ひたち野うしく駅に設置するための委託料を計上しております。

次に、令和6年度決算についてです。記者会見資料2の1ページをご覧ください。

令和6年度普通会計の収支の状況でございますが、歳入決算額は350億9千万円で、対前年度比4.9%、16億5千万円の増額、歳出決算額につきましては342億8千万円で、同比8.3%、26億3千万円の増額となりました。

また、決算統計から算出される主な財政指標につきましては、経常収支比率が、94.3%となり、前年度数値93.6%から0.7%増加いたしました。

これら令和6年度の決算や財政指標の詳細につきましては、この後担当部長よりご説明いたしますが、牛久市の財政状況につきましては、まだ県内他市町村の数値が全て公表されていないため、相対的な状況は正確には把握できていないものの、昨年度までの数値を基にすれば、財政力指数や実質公債費比率といった指標は、おそらく県内でも上位の数値であり、財政状況としては、相対的にはそれほど悪い状況ではないものと考えております。

一方で、扶助費などの社会保障経費の増加や、小中学校の長寿命化や空調の更新などの公共施設の老朽化対策などに加え、昨今における物価や賃金の上昇など、財政運営上の課題が多いものと捉えております。

そのような中、令和6年度におきましては、新たな政策や取り組みを実施しながらも、借金である市債残高を、普通会計と下水道事業会計合わせて10億円近く減少させることができ

たこと、また、財政調整基金などの基金残高を2億7千万円増額させることができたことは、持続可能な財政基盤の確保という観点から、一定の評価ができるものと考えております。

引き続き、市の魅力度向上や人口流入の促進などに取り組みながら、徹底した事務事業の見直しを行うとともに、ふるさと納税の推進などを通じて新たな財源を確保するなど、歳入歳出の両面で取り組んで行くことが必要であると考えております。

次に、地域連携公共ライドシェア利用促進キャンペーンの実施についてです。記者会見資料3の2ページをご覧ください。

地域連携公共ライドシェアは、令和7年1月27日よりつくば市、土浦市、下妻市と当市の4市連携にて事業を開始いたしましたが、牛久エリアの利用回数は、8月18日現在で57件と利用率が伸び悩んでいる現状でございます。

一方、説明会や登録サポート会など、様々な広報活動を実施したことにより、利用登録者は順調に増加しており、一度利用頂いた方のリピート率も50%超と高い状況です。

そこで、まずは一度ライドシェアをご利用頂くことが重要であると考え、会員登録いただいている方のうちライドシェア未利用者及び新規登録者に対して、10月1日から12月27日の間に使用できる無料お試し券を1人当たり4枚配布し、利用の促進を図るキャンペーンを実施いたします。

この機会に是非ライドシェアをご利用頂き、日頃のおでかけなどにご活用いただくきっかけとなれればと存じます。

次に、令和7年度地域身体障害者スポーツ大会の開催について、記者会見資料4の2ページをご覧ください。

この大会は、障害のある方々がスポーツを通じて体力の維持・増進を図り、幅広い地域の皆様と交流する中で、様々な障害に対する理解を深め合うことを目的に開催しております。

県南地区の８つの市町村が協力して毎年開催しており、昨年度はつくばみらい市主催で実施され総勢２２１名の参加、そのうち当市からは１１名の身体障害者の方が参加いたしました。

８年ぶりに牛久市で開催される今大会では、レクリエーションとして「パン釣り走」、個人種目となる「車いす競争」や団体種目となる「輪投げ競争」「フライングディスク」「リアル野球盤」の５つの競技を行います。

最終種目であります「リアル野球盤」は、プロ野球球団日本ハムファイターズと北海道北広島市が、地域の年代や障害を超えて、スポーツを通じた交流のために広げている競技になります。

大会を通じて体力維持増強を図るとともに、地域住民との交流の中で身体障害者に対する理解を深め、障害者福祉への関心の高揚を図ることによって、身体障害者の自立と社会参加の促進に繋げてまいります。

また、大会を盛り上げるため、さまざまな団体にご協力いただいております。資料３ページをご覧ください。

当市と包括連携協定を締結している、茨城県を代表するプロスポーツチーム、鹿島アントラーズ様や茨城ロボッツ様、障害者就労支援を通じ地域との共生社会を目指す株式会社スタートライン様より、物品協賛等の様々な協力をいただいております。

さらに、今回の大会運営にご協力いただいております、茨城県立牛久栄進高校の皆様には、この大会で地域との交流を通じ、一人一人の成長機会としていただきたいと考えております。

この大会を通し、スポーツで育まれる地域交流の輪が広がり、参加される皆様の良い思い出に残ることを願っております。

最後に、第４８回牛久シティマラソンの参加者募集についてです。記者会見資料５の２ページをご覧ください。

今回で４８回目となります牛久シティマラソンを、令和８年
１月１２日 月曜日・成人の日に開催いたします。

牛久シティマラソンのコースは、最長１０kmで、多少の起伏
はございますが、比較的走りやすいコースとなっております。

また、市街地の中を走るため沢山の方々からご声援を頂けます
ので、多くのランナーが声援をエネルギーに変え、より力を
発揮することが出来る大会となっております。

招待選手として、毎年参加していただいている小森コーポレ
ーション陸上競技部の選手が参加予定となっており、私自身も
昨年に引き続き参加させていただく予定です。

牛久シティマラソンでは、参加者の皆様によりお楽しみいた
だけるよう、フレンドリータウン協定を締結している茨城ロボ
ッツ様のマスコットキャラクターを使用させていただき、今大
会限定の「オリジナルタオル」を配布するほか、完走後には炊
き出しの豚汁をご用意し、最後までお楽しみいただけるよう準
備してまいります。

大会の参加方法は、インターネット申込のみで、申込期間は、
９月８日 月曜日から１０月３１日 金曜日までとなりますの
で、ぜひご参加ください。皆さまのお申込み、お待ちしております。

私からの発表は以上です。